

# ○ ケイヒ（桂皮）

## 語源

*Cinamomum*：桂皮のギリシア名。cinein：「巻く」+amomos「申し分ない」と考えられる。桂皮の巻いた形とその芳香を称えた名。

*cassia*：「桂皮」「良い香り」の意味。

## 基原

*Cinnamomum cassia* シンナモムム・カссия  
別名：桂（ケイ）、カシア

クスノキ科 常緑高木

一般にケイのことをシナモンと総称するが、欧米でシナモンといえばおもにセイロンケイヒ *C.zeylanicum* のことである。香辛料としてはシナモン、漢方生薬としてはカシアが利用される。

## 薬用部分

樹皮

ケイの若い枝を「桂枝」と呼ぶが、漢方処方の名称で「桂枝」という名がついていても（桂枝湯、桂枝茯苓丸、柴胡桂枝湯など）、漢方では樹皮の「桂皮（ケイヒ）」が使用される場合が多いようである。

## 産地

中国南部、ベトナム

産地により「広南（かんなん）桂皮」「東興桂皮」「ベトナム桂皮」などの名称がある。

## 主な成分

フェニルプロパノイド： ケイヒアルデヒド、ケイヒ酸など

ジテルペノイド： シンゼイラニン、シンゼイラノール

タンニン： (-)-エピカテキン、シナムタンニン

## 主な薬効

発汗、解熱、鎮痛、健胃、血流改善、矯味

## 代表的処方

発汗、解熱、芳香性健胃、駆風薬として、頭痛、発熱、のぼせ、感冒、身体疼痛などに応用する。

## 【桂枝湯】

ケイシトウ

体力虚弱で、汗が出るものの次の症状： かぜの初期  
（処方内容） 桂枝／芍薬／大棗／生姜／甘草

## 【苓桂朮甘湯】

リョウケイジュツカントウ

体力中等度以下で、めまい、ふらつきがあり、ときにのぼせや動悸があるものの次の諸症： 立ちくらみ、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸、息切れ、神経症、神経過敏  
（処方内容） 茯苓／白朮（蒼朮）／桂皮／甘草

## 文献報告

### 【抗炎症】

Anti-Inflammatory activities of *Cinnamomum cassia* constituents in vitro and in vivo

Evid. Based. Complement. Alternat. Med, 2012, 429320

### 【血糖降下】

The effects of *Cinnamomum cassia* on blood glucose values are greater than those of dietary changes alone

Nutr. Metab. Insights, 2012, 5, 77-83

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「漢方のくすりの事典」「和漢薬の事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力  
**福田龍株式会社**

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11  
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562  
URL：www.fukudaryu.co.jp

